ご　案　内

第56回　全道へき地複式教育研究大会空知プレ大会

□研　究　主　題

『自ら創造的に学び、豊かな心でたくましく郷土を拓く子どもの育成』

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、一人一人の児童生徒に
「新たな時代を生き抜くための力」を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～

□大会日程（基本形）

9：00	9：10～	10：15～	11:00～	11:20～	12:00～	13:00～	15:00～
受　付	公開　①	公開　②	休　憩	開会式	昼　食	研究協議	閉会式

※会場によって一部異なる場合もあります。

□プレ大会　会場校一覧

会　場　校　名　開催期日	研　究　主　題　～副主題～	分野・課題
1. 夕張市立夕張小学校　9月22日(金)	「一人一人が自ら進んで活動する子どもの育成」　～算数科の間接指導を通して～	学習指導　7
2. 夕張市立幌南小学校　9月22日(金)	「自ら課題を追求し、心豊かに表現できる子どもを求めて」　～国語科における複式学習のあり方～	学習指導　7
3. 長沼町立西長沼小学校　9月29日(金)	「さがし・うけとめ・解決する子の育成」　～情報機器を活用した算数科の実践を通して～	学習指導　5
4. 岩見沢市立メープル小学校　10月6日(金)	主体的に学び、豊かに伝え合い、共に学びを深める子どもの育成　～考える力と表現する力を育む学習指導の充実を目指して～	学習指導　5・7
5. 三笠市立幾春別小学校　9月29日(金)	一人一人が生き生きと活動し、自ら意欲を持って取り組む子どもの育成　～少人数学級の特性を生かした算数科の授業作り～	学習指導　5・7・8
6. 月形町立札比内小学校　9月29日(金)	豊かな表現力を培い、楽しく学びあう子どもの育成　～「確かな学力」を育む授業づくりを目指して～	学習指導　7
7. 美唄市立西美唄小学校　10月6日(金)	自ら学ぶ喜びを知る児童の育成　～国語科の「話す・聞く」力を生かしたコミュニケーション能力の育成～	学習指導　6・7
8. 新十津川町立花月小学校　11月10日(金)	自分の思いや願いを大切にし、生き生きと瞳輝く子どもの育成　～一人一人が主人公となる学習の創造～	学校経営3　学習指導7
9. 芦別市立常磐小学校　9月22日(金)	自ら考え、学ぶ喜びを実感する子どもを目指して　～音読活動を通して意欲的に考え豊かに表現する子～	学習指導　7
10. 深川市立多度志小学校　9月22日(金)	自ら学び・自ら考える子どもの育成　～算数科の基礎基本の定着を図る授業研究を通して～	学習指導　5・7

空知管内へき地・複式教育研究連盟
○委 員 長：天井　淑子（栗沢町立美流渡小学校）　☎0126－46－2415
○事務局長：平瀬　敦夫（岩見沢市立メープル小学校）　☎0126－44－2205

※1次案内については、5月上旬にお届けする予定です。

道へき・複連
道へき・複連情報

発　行　者
北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com/dohekiren
委 員 長　梅　木　登 喜 雄
編集責任者　宮　下　敏
印 刷 所　有限会社　岡 本 印 刷
旭川市6条西5丁目　☎（0166）22－0752
題字　書家　濱谷彩鶴（はまや・さいかく）氏

先行き不透明な時代、確かな実践をもって、対峙できる力と更なる連帯の広がりを！

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長　**梅　木　登喜雄**

平成17年度の活動を終えるにあたって、全道各地の会員の皆様にあらためて感謝を込めながらご挨拶を申し上げます。

今年度は、第54回の全道へき地複式教育研究大会後志大会が、倶知安町を中心に全道各地より多くの参加者を得て、盛会裏に終えることができました。後志へき地・複式教育研究連盟の皆さんの真摯な取組と実践の確かさに感謝し、あらためて敬意を表します。また、後志大会の成果を継承し、次年度全道大会を開催する根室地区では、9月から11月にかけてプレ大会が開催されました。本大会に向けての諸準備や各会場校での着実な実践を通して、根室地区のへき地教師の大会への熱い思いが伝わってきます。大いに期待すると共に一層の連帯を強めたいと考えます。

更には、10月に第21回北海道へき地複式教育実践研究発表大会がライフォート札幌で開催されました。全道4地区から4人の実践発表と研究協議、教育大学の村田教授の講話を内容に、全道各地から多くの参加者を得て実践交流と研修を深めることができました。第7次長期5カ年研究推進計画に基づく、全道的な共同研究の実践発表の場として大いに意義ある実践発表会になったと自負しております。

さて、今年度は、給与の適正化に関わり、へき地級地の算定要素の見直しとして、エキノコックス症の付加点数の廃止が提案されました。次年度4月からの実施は見送られましたが、見直しについては再度検討されることは必至であります。このように道財政の逼迫による教育への影響は今後益々多岐に渡ることが予想され、組織としての対応が迫られています。従前から、道小・道中と連携を取りながら、へき地の教育条件整備の取組を進めて参りましたが、改善されるものより、年々後退する内容の方が増えているのが大変残念でなりません。

当連盟は、結成以来、教育研究を本分としながら、一方で教育条件整備の運動を並行させながら邁進して参りました。今後も全道の仲間の皆さんとこの考え方を基盤に、道へき・複連と全道各地区の連盟の益々の発展のために尽力していきたいと決意を新たにしております。今年度ご支援・ご協力をいただきましたことに感謝とお礼を申し上げ、ご挨拶と致します。